

$$\frac{1.25\text{OH}_2\text{-VitD}}{25\text{OH-VitD}} < 1 \quad (\text{少なくとも} < 2) \text{が目安}$$

自然なVitD3

八雲風化Ca

なるべく高く
(30-80nmol/L)

なるべく低く
(<60pmol/L)

善玉VitD3 (25OH D3)

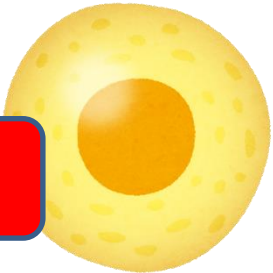
悪玉VitD (1.25OH₂D₃)



骨Ca

血中カルシウム

細胞内Ca



骨の強化、多くの種類の癌予防、
免疫強化、糖尿病リスクの軽減

アポトーシス阻害
炎症性サイトカイン
酸化窒素増加



癌の増殖
炎症
動脈硬化
異所性石灰化
骨棘

《結論》

1. Caが細胞内で高濃度になると、がんの再発転移リスクは高くなる。
2. Caの細胞内移動を促すのは悪玉VitD (1.25OH₂D₃) である
3. 善玉VitD₃ (25OHD₃) は骨の強化、多くの種類の癌予防、免疫強化、糖尿病リスクの軽減に役立つ
4. 癌リスクを減らすには善玉VitD₃ (25OHD₃) を50以上に高く保ち、悪玉VitD (1.25OH₂D₃) を60以下に低く保つ (悪玉/善玉VitD < 1が目標)

1. そのためにVitD分画を調べ、良いVitD、良いCaを適正量補充する
2. 良いVitDは善玉VitDのもとになる
3. 良いCaだけが悪玉VitDを下げる事が可能。当クリニックでの試験結果により、調べた製剤のうち八雲風化Caだけがその作用を持つ。Mgを足すとより良い。